

日本モンゴル学会

2017 年度秋季大会案内

2017.10.11

仲秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。会員の皆様には益々ご健勝のことと拝察いたします。

さて、本年度秋季大会を下記のとおり開催いたしますので、ご同学お誘いあわせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 : 2017 年 11 月 18 日(土) 午前 9 時 30 分～午後 5 時 50 分

場 所 : 滋賀県立大学 A2 棟 2 階 A2-202 大講義室

(会場への交通アクセス、キャンパスマップにつきましては、本状末尾をご覧ください。以下のページも合わせてご確認ください。)

(アクセス http://www.usp.ac.jp/campus/acs_map/)

(キャンパスマップ http://www.usp.ac.jp/campus/cam_map/)

内 容

総合司会 : ボルジギン・ブレンサイン (滋賀県立大学)

開会の辞(会長) (9:30～9:35)

滋賀県立大学学長 挨拶 (9:35～9:40)

第 1 部 研究発表

1. 中村絵里 (東京大学大学院博士課程)、北村友人 (東京大学大学院)
「ウランバートル市ゲル地区における小学生保護者のネットワークに関する考察」
(9:40-10:00)
2. 廣田千恵子 (千葉大学大学院博士後期課程)
「モンゴル国カザフ人社会におけるフェルト敷物「サルマック」の使用法とその特徴」
(10:00-10:20)
3. ハスゴワ (ハス高娃) (神戸大学大学院博士後期課程)
「清代及び中華民国期におけるオルドス地域のキリスト教宣教師たち— 引き起こされたトラブルとその解決方法」
(10:20-10:40)
4. 内田孝 (滋賀県立大学)
「滋賀県立大学図書情報センターが所蔵するモンゴル関連資料の紹介— 精松文庫と陳文庫を中心に—」
(10:40-11:00)

(精松文庫等の見学:11:05-11:35)

第2部 講演

1. Christopher P. Atwood. (ペンシルヴェニア大学教授)
“Chinggis Khan and His Sons in Yuan Dynasty History Writing”
(13:00-13:30)
2. ボヤンデルゲル (内モンゴル大学教授)
《“鮮卑”、“室韦”、“尼鲁温”音义新释——兼论蒙古族族源》(「“鮮卑”、“室韋”、“尼魯温”の原意をめぐる新しい解釈— モンゴルの起源論を兼ねて」)
(13:30-14:00)
3. ザヤーバータル (モンゴル国立大学教授、モンゴル研究協議会事務局長)
Монгол судлал: дэмжих бодлого, үйл ажиллагаа (モンゴル研究：支援策と活動)
(14:00-14:30)

(休憩；14:30-14:45)

第3部 「現代モンゴル仏教の実践の諸相」セッション

- 趣旨説明 (島村一平：滋賀県立大学) (14:45-14:50)
1. Rustam SABIROV (モスクワ大学)
“Varieties of Buddhism in Contemporary Mongolia”
(14:50-15:05)
 2. 島村一平 (滋賀県立大学)
「呪術化した社会主義：モンゴルにおける社会主義期の転生ラマ信仰の事例から」
(15:05-15:20)
 3. 趙芙蓉 (国立民族学博物館外来研究員)
「内モンゴルにおけるモンゴル仏教の再生の現状と転生ラマの存在」
(15:20-15:35)
 4. Jadamba Lkhagvademchig (モンゴル国立大学専任講師)
「双頭のモンゴル仏教：現代モンゴル仏教の主導権をめぐるジェプツンダンバ9世と
ガンダン寺院管長のポリティクス」
(15:35-15:50)
- 討論 (15:50-16:10)

(休憩；16:10-16:25)

第4部 研究発表

1. 正司 哲朗（奈良大学）、千田嘉博（奈良大学）、臼杵勲（札幌学院大学）、L.イシツェレン（モンゴル科学アカデミー歴史・考古学研究所）、CH.アマルトゥヴシン（モンゴル科学アカデミー歴史・考古学研究所）、G.エレグゼン、青木麻佑花（奈良大学）
「モンゴル国における18世紀の寺院都市ズーン・フレーのデジタルアーカイブと構造解明」
(16:25-16:45)
 2. Legden Tserenchunt（インディアナ大学上級講師）
“Past, Present and Future of Teaching Mongolian Language at Indiana University and in the USA”
(16:45-17:05)
 3. 小林秀高（拓殖大学北海道短期大学）
「モンゴル国における政治制度と大統領の権力」
(17:05-17:25)
 4. チョルモンゲレル（大谷大学真宗総合研究所特別研究員、中央民族大学大学院博士課程）
「カルムイク木版本『金光明経』の新研究—二種の木版本の関係・刊行時期について—」
(17:25-17:45)
- 閉会の辞（副会長） (17:45-17:50)

◇ 日本モンゴル学会事務局

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学青木雅浩研究室気付
Tel.042-330-5297 / E-mail: monglstd@yahoo.co.jp

◇ 滋賀県立大学（会場）

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

◇ 大会終了後、18:00より滋賀県立大学A2棟生協カフェテリアにて懇親会を開きますので、会員の皆様の多数のご出席をお願いいたします。（懇親会費4,000円、留学生は3,000円を予定）

* 年会費のご納付もお願い申し上げます（一般4,000円、学部学生2,500円）。

★大会当日、彦根駅—滋賀県立大間の臨時バスを運行いたします。（会場となる滋賀県立大の最寄り駅は「南彦根駅」ですが、遠方からお越しの方は新快速が止まる彦根駅の方が便利です）

（行） 滋賀県立大行 （コンフォートホテル前日泊の方は、ご利用ください）
8:45 JR彦根駅東口ロータリー 発 （20分～30分で到着）

(帰り) JR 彦根駅行 (コンフォートホテル彦根行)

18:30 「県立大学」バス停 発 (20分~30分で到着)

20:30 「県立大学」バス停 発 (20分~30分で到着)

http://www.usp.ac.jp/user/filer_public/fb/b7/fbb75236-af8f-42ed-8e3b-d56b3197654a/campus_map_20151026.pdf

○滋賀県立大学への交通アクセス

JR 南彦根駅からバスで 15 分/タクシーで 8 分

JR 彦根駅からバスで 25 分/タクシーで 10 分

* バス時刻表につきましては、http://www.usp.ac.jp/campus/acs_map/をご確認ください。

JR 南彦根駅まで

- ・ JR 京都駅から普通で 60 分
- ・ JR 名古屋駅から快速で 80 分 (米原駅で乗り継ぎ)

JR 彦根駅まで

- ・ JR 京都駅から新快速で 50 分
新幹線で 30 分 (米原駅で乗り継ぎ)
- ・ JR 名古屋駅から新幹線で 35 分 (米原駅で乗り継ぎ)
- ・ JR 金沢駅から特急で 2 時間 (米原駅で乗り継ぎ)

○滋賀県立大学 キャンパスマップ

